

中小企業地域懇話会での意見等について

資料2

○県内6地域(振興局単位)で、地域の中小企業経営者等と商工労働部職員による意見交換を実施。

地域	対象市町村	開催日	参加企業数
西部	日田市、九重町、玖珠町	6月18日	22
南部	佐伯市	7月2日	18
豊肥	竹田市、豊後大野市	7月8日	17
東部	別府市、杵築市、国東市、姫島村、日出町	7月11日	19
中部	大分市、臼杵市、津久見市、由布市	7月19日	21
北部	中津市、豊後高田市、宇佐市	7月24日	18

○主な意見等については下記のとおり。

【1】中小企業活性化条例について

項目	意見等
条例の普及啓発について	この立派な条例を、県、商工会、農協等が連携して隅々まで行き渡るように頑張ってもらいたい。
	条例は知らない人も多いと思うので、商工会議所単位で出前講座をしてもらえないか。もっと詳しく聞きたいと思ったことが何点かあったので、是非来て欲しい。
	中小企業活性化条例をもっと分かりやすくしてもらいたい。
条例の成果測定について	どういう数値を使って中小企業の活性化が進んでいるのかどうかを計ろうとしているのか。
県と市町村との連携について	条例制定後の、県と市町村との連携をどのように考えているのか。
第10条(大学等の役割)について	大学に何かお願いした際に断られたりしたら、条例違反になるのか。
第11条(県民の理解と協力)について	鉛筆一本から地域内で発注するようにするなど、地域に貢献できるようにして欲しい。
	特に第11条を是非県民に広め、地域の商店を使うようにして欲しい。また、もし県職員が地域商店を活用していなければ見直していただき、積極的に地元商店等を活用するよう協力いただきたい。
第20条(財政上の措置)について	第20条の「財政上の措置」とは、ガイドブック等以外の事業でも、中小企業のためならば措置するという意味か。

【2】県の施策について(商工労働部関連)

項目	意見等
商工会活動に対する支援について	商工会合併後、小さい部会に分けて掘り下げて活動しようとしているがあまり集まりがよくない。何か県で支援する案があれば教えていただきたい。
商工業者への補助金制度について	制度資金があっても、我々は拡大する余力がなく衰退するばかり。補助金ならばよいが、返済を伴う融資は厳しい。県が一步進んで補助金制度を考える必要があるのでは。
創業支援について	各市町村単位には言わないが、各振興局単位にインキュベーション施設を設置し、各地域で創業を啓発するとか、創業を支援する体制作りをすべきではないか。
設備投資の促進について	設備投資に対する補助の要件を緩和するなどして、中小零細企業がもっと設備投資をしやすくするようなことはできないか。
アートクラスター構想について	3Dプリンタなどを活用して、中小企業がデザインで競争できるようになるのも面白い。「アートクラスター」を県で企画し、どこでも良いので、成功モデルを作って欲しい。
オープンデータの活用について	自治体が持っている様々なデータを公開すれば、予算を付けずに新たな産業が起こせるというメリットがある。本県でも取り組んでいくべきだと思うがどうか。
中小企業のIT化促進について	地元の中小企業が詳細な情報を提供するというのは技術的に難しいと思うので、県のサービスの一環で、サポートをしてもらえれば良いと思う。
大型店の商工会、商店街連合会の加入について	県の作った商店街振興の条例(まちづくり推進条例)には、加入することと明記しているのに、大型店が商工会、商店街連合会に加入しない。条例制定後のフォローアップはどうなっているのか。
大手資本参入企業のまちづくり等への協力について	県外大手資本の小売業者の中には、祭の協賛依頼にも応じず、地域活動にも参加しないところもある。出店に至る段階で、まちづくりへの協力要請などを謳う条例を作っていただければありがたい。
県産品活用に対する支援施策について	県産品をかなりのウェイトで活用したような場合に補助金を出すといった施策はどうか。そうすれば、頑張ろうという気も出てくるし、現下の物価高をチャンスだと思えるようになると考えるがどうか。
展示会・商談会について	競争激化するかもしれないが、的を絞ってお客さんを狙い撃ちできるような専門的な展示会・商談会を開催して欲しい。そうすれば商談の成功率も上がるのではないか。
人材育成について	高校生が就職した後の先生たちのフォローが全くない。人材育成について、どう考えているか。
人材確保について	求人を出しても働いてくれる人がいない状況。人がいないとできない仕事であり、人材確保に係る支援はないか。
難病患者が働きやすい環境づくりについて	障がい者雇用はよく聞かれ、対策もなされているところであるが、難病患者が働きやすい環境づくりについても、取組をお願いしたい。

【2】県の施策について(他部局関連)

項目	意見等
日豊線におけるSL等を活用した観光について【企画振興部】	東九州新幹線の実現が困難なようであれば、むしろ、例えば佐伯延岡間にSLを走らせる等で観光集客を図っていくというような、思い切った観光政策も考えるべきではないか。
養殖業の浄化槽設置について【農林水産部】	かつて養豚の事業主に浄化槽の設置が義務づけられたことがあったが、個人での設置は金銭的に厳しい。業態は養殖業に変わったが、公的な浄化槽整備はできないのか？海を汚さない施策をお願いしたい。
高速道路建設事業終了後の建設業対策について【土木建築部】	高速道路完成後(2~3年後)の建設業に対する施策・対策を考えているのか。
地域での経済循環等について【教育庁】	消費者の思いが中小企業を支える力になると思っている。子どもたちには、地域を守るためには地域内での日々の消費が大事であるということを学校教育の中でも教えていただきたい。
日田林工の土木科廃止について【教育庁】	人材育成と言うが、県の施策と合致してないではないかと思う。地元の土木・建設業で働く後継者不足が問題になっているのに、高校の人材育成する場を無くしてどうするのか。
玖珠農業高校と森高校の合併について【教育庁】	玖珠農業高校と森高校が合併するが、全て行政主導で進み、地域の声が届いていない。子供たちを輪切りにした進路指導が垣間見れる。子ども(人材)が地元に残れる施策を県教委と考えていただきたい。

【3】その他意見等

項目	意見等
人口増加策について	活性化条例よりも、人口を増やすことを考えてはどうか。どうしたら人口が増えるのか、その1点だけを考えたら、活性化についても解決するのでは。そこを真剣に考えて欲しい。
地域を残すための施策について	中央の標準の施策でなく、地域の特色を生かした丁寧な施策をお願いしたい。画一的な中央の施策を踏襲しては生き残られない。地域を残すための施策を真剣に考えていただきたいと思う。
中小企業に係るPR等について	「中小企業は全企業数の99.9%を占める」等の客観的事実を知らないことから、学生が求職するにしてもどうしても大企業重視の傾向にある。県でもこうした客観的事実を常に発信していただきたい。
行政の支援の在り方について	行政への依存体質を作ってはだめ。中小企業が自助努力するよう、それをバックアップする体制を作ってもらいたい。意見を言いやすい体制づくりをお願いしたい。
	地域で活性化策について議論を行っており、あと一步で事業化できるというものがある。それに対し、現場の議論の過程を見た上でのアドバイス、支援をお願いしたい。それが現場主義ではないか。
	企業の自助努力に対する評価をいただきたい。キラリと光っている個人商店を応援して欲しいが、金を貸すだけではなく、知恵を貸したり等、担当者には企業に寄り添っていただきたい。
県施策等のPRについて	今回配付のあった資料には、使ってみたい事業もある。よく練られた内容になっており、是非各企業にこれを行き渡らせ、本気で使っていただけるような形にしていきたい。
	こういう会で冊子を持って帰れる私はいいが、こういう場に来ない中小企業に、県の施策等をどうやって知らせるのか。
	県の施策には大変素晴らしいものもあるが、事業者がその制度を知らないことが多い。もっとPRすべきではないか。
	振興局に知り合いがいるから、県の施策について、知り得ることができたが、そうでなければ知り得ないことが多い。振興局にコンシェルジュ・デスクを設置してはどうか。
	県の施策については作って終わりではなく、これを如何に使ってもらうかが大事。仏作って魂入れずではないが、まさにこの「魂」の部分が欠けては何にもならない。
地域懇話会について	こういう会議では、「よそではこういった取り組みをしているのでやってみてはどうか」などの提案を県にはお願いしたい。そうすれば一步踏み込んだ今までよりも深い議論になるのでは。
	中小企業支援の直接の窓口が産業創造機構等ということなので、次回の会議にはこういった窓口の方も出席していただくと良いと思う。